

令和2年第8回南島原市教育委員会定例会

日時 令和2年8月27日(木) 午後2時

場所 南有馬庁舎 3階大会議室

議事日程

第1 開会

第2 前回会議録の承認

第3 会議録署名人の指名

第4 教育長報告

第5 議案審議

議案第43号 南島原市世界遺産影響評価委員会委員の委嘱について

議案第44号 教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書〔平成31年度
(令和元年度)事業分〕について

報告第5号 南島原市立小中学校遠距離児童・生徒通学費補助金交付要綱の一部を
改正する告示について

第6 その他

(1) 準要保護児童生徒就学援助の認定について

(2) 令和2年度南島原市一般会計補正予算(第6号)について

(3) 次回教育委員会定例会の開催について

(4) その他

第7 閉会

令和2年第8回南島原市教育委員会定例会教育長報告

○令和元年7月の諸会議並びに諸行事

30日(木) 14:00 令和2年第7回教育委員会定例会(南有馬庁舎)

31日(金) 10:00 令和2年度第2回自己点検評価検討会議(南有馬庁舎)

○令和2年8月の諸会議並びに諸行事

5日(水) 10:00 令和2年度第1回長崎県都市教育長協議会(～8/6) 【延期】(雲仙市)

6日(木) 15:00 市内高校・中学校校長意見交換会(カムス)

7日(金) 10:00 令和2年度第3回自己点検評価検討会議(南有馬庁舎)

20日(木) 14:45 理科教育設備整備費等補助金事業に係る研修会(カムス)

17:00 第8回南島原市新型コロナウイルス感染症対策本部会議(西有家庁舎)

21日(金) 9:30 部局長会議(西有家庁舎)

議案第43号

南島原市世界遺産影響評価委員会委員の委嘱について

提案理由

南島原市世界遺産影響評価委員会条例第3条の規定により、南島原市世界遺産遺産影響評価委員を委嘱したいので提案する。

令和2年8月27日提出

南島原市教育委員会
教育長 永田 良二

南島原市世界遺産影響評価委員会 委員名簿（案）

任期：令和2年7月31日～令和4年7月30日

	氏名	所属	役職	備考
			専門分野等	
1	苅谷 勇雅 かりや ゆうが	日本イコモス国内委員会	副委員長	
			建築	
2	鱒坂 徹 あじさか とおる	鹿児島大学・日本イコモス国内委員会	教授・委員	
			建築設計	
3	服部 英雄 はっとり ひでお	くまもと文学・歴史館	館長	
			中世史	
4	林 一馬 はやし かずま	長崎総合科学大学	名誉教授	
			建築	
5	内山 哲利 うちやま てつとし	一般社団法人 南島原ひまわり観光協会	会長	
			地域代表	

議案第44号

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書〔平成31年度（令和元年度）事業分〕について

提案理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、平成31年度（令和元年度）における教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書を作成し、これを議会へ提出するとともに、公表しなければならないので、教育委員会の意見を求める。

令和2年8月27日提出

南島原市教育委員会
教育長 永田 良二

教育委員会の所管事務に係る 自己点検・評価報告書

〔平成 31 年度（令和元年度）事業分〕

令和 2 年 9 月

南島原市教育委員会

目 次

	(頁)
教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について	(1)
学識経験者の所見	(3)
自己点検・評価	(11)
第1 教育委員会の活動及び管理執行事務	(12)
1 教育委員会及び教育委員の活動	(12)
(1) 教育委員会会議の運営及び情報発信	
(2) 教育委員と事務局との連携	
(3) 教育委員会と市との連携	
(4) 教育機関等との連携	
(5) 教育委員の研修等	
2 教育委員会が管理又は執行する事務(教育長に委任できない事務)	(14)
(1) 教育行政運営に関する一般方針の決定	
(2) 学校その他教育機関の設置又は廃止の決定	
(3) 県費負担教職員の懲戒並びに小学校長及び中学校長の任免その他の進退につ いての内申	
(4) 教育長、教育次長、課長及びその他の教育機関(小学校及び中学校を除く) の長の任免	
(5) 学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更の決定	
(6) 教育委員会規則の制定又は改廃	
(7) 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案に関する意見	
(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱	
(9) 教科用図書採択に関する基本方針の決定	
(10) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定又は変更の決定	
(11) 市文化財の指定又は指定の解除の決定	
(12) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定による教育 委員会の権限に属する事務についての点検及び評価並びに公表	
第2 教育委員会事務局の執行事務(教育委員会から教育長が委任されて いる事務)	(16)
1 教育環境の充実に係る事務	(16)
(1) 小・中学校の耐震性の確保を図る整備工事	
(2) 小・中学校の整備改修	
(3) 社会教育施設・社会体育施設の整備改修	

2 学校教育の推進に関する事務 (18)

- (1) 新入学児童支援事業 (教育支援委員会)
- (2) 特別支援教育推進事業 (特別支援教育助手の配置)
- (3) 子どもの悩み相談事業 (心の教室相談員の配置)
- (4) 学校支援員配置事業
- (5) 市教職員研修「あかつき」
- (6) 北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展
- (7) 人間教育研究指定小学校事業
- (8) 人間教育研究指定中学校事業
- (9) 総合学習事業 (小学校)
- (10) 総合学習事業 (中学校)
- (11) 語学指導外国青年招致事業 (外国語指導助手等の配置)
- (12) 学校給食関連設備整備事業
- (13) 南島原市立小学校適正規模・適正配置事業
- (14) 幼児教育に係る事業
- (15) ICT機器の整備
- (16) 中体連補助事業

3 社会教育の推進に関する事務 (23)

- (1) 社会教育委員兼公民館運営審議会委員の活動
- (2) 家庭教育支援の充実
- (3) 地域教育力の充実
- (4) 芸術文化の振興
- (5) 読書活動の推進

4 スポーツの振興に関する事務 (30)

- (1) スポーツイベントの開催
- (2) スポーツ団体との連携

5 文化財の保護活用に関する事務 (33)

- (1) 資料館等の維持・管理
- (2) 指定文化財の保護・管理
- (3) 埋蔵文化財の発掘調査
- (4) 文化財保護審議会
- (5) 史跡原城跡・日野江城跡専門委員会

6 世界遺産推進に関する事務 (36)

- (1) 世界遺産の価値に関する適切な情報提供
- (2) 世界遺産アクションプランに基づく取組の展開

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書の作成の仕方について

- 1 教育委員会の所管事務について、項目ごとに、点検・評価のコメント及び活動内容について記載しました。

また、項目ごとに、評価ランクとして、4段階の自己評価（A～D）を記載しました。

A	達成・拡充
B	達成・継続
C	見直し・縮小
D	廃止

- 2 回数、人数等、平成31年度（令和元年度）の数値（実績）が前年度と比較できるものについては、〔 〕書きで、前年度（平成30年度）の数値を掲載しました。
- 3 南島原市教育振興基本計画の指標（数値目標）があるものについては、【指標】で令和4年度（平成34年度）までの目標指数を記載しました。

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

本市教育委員会においては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定によりまして、昨年度{平成31年度(令和元年度)}の所管事務について、自己点検及び評価を行い、その報告書を作成しました。また、点検及び評価を行うに当たって学識経験者の知見の活用については、お二人にそれぞれ所見をいただきました。

自己点検及び評価に当たっては、客観的な視点に立って実施しました。その結果、特筆すべき事項として次の点が挙げられます。

教育委員会の活動においては、ホームページによる詳細な会議録を毎回公開し、積極的な情報発信を行いました。さらに、総合教育会議を通じての活発な意見交換と学校訪問や各種の学校行事に参加することにより、市や学校との連携を図りました。

学校施設整備においては、老朽化施設を中心に改修整備を行いました。耐震化については、平成26年度に完了しましたが、学校施設の更なる安全性向上を図るため、非構造部材耐震化改修工事に着手しております。今後は、全ての学校の非構造部材耐震化改修工事を計画的に進めてまいります。また、近年の地球温暖化による気温上昇に対応するため、市内8小学校(うち分校2校)の普通教室に空調設備を整備しました。今後、音楽室、理科室及び家庭科室を基本とした3つの特別教室への空調設備の整備を行い、安心・安全で快適な学校環境づくりに努めてまいります。また、南島原市内学校施設の中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減、予算の平準化及び学校施設に求められる機能・性能を確保するため、「南島原市学校施設長寿命化計画」(令和元年度～令和38年度)を策定しました。今後は、本計画に沿って、計画的な整備改修を進めてまいります。

学校教育においては、確かな学力・豊かな心と志・健やかな体を育む教育の推進に努めました。学校数は、南島原市立小学校適正規模・適正配置実行計画に基づく小学校の統合及び分校の併合により、小学校17校(うち分校2校)と中学校8校となりましたが、教職員の負担を軽減し、個々の児童生徒にきめ細やかな対応ができるよう、必要に応じて相当数の学校支援員等を配置しました。また、教職員のスキルアップを図るための教職員研修「あかつき」の実施や計画的な学校訪問等を実施し、学校力の向上を目指しました。その他、生きるための学力と人間力の向上を狙った研究指定や、就学・教育支援、子どもの悩み相談事業等を展開するとともに、総合学習事業により、各学校の横断的、総合的な学習を支援しました。新学校給食センター建設については、建築工事に着手しております。今後も、各事業を効果的・継続的に推進してまいります。

社会教育の推進においては、「子育てしやすいまち」、「住み続けたいまち」を目指し、家庭教育支援に関わる地域人材の養成や南島原ファミリープログラムを活用して、乳幼児を持つ親の学習機会の充実に取り組みました。更に、放課後子ども教室「寺子屋21」や中学生を対象とする学習支援「南島原未来塾」を継続して開設したほか、通学合宿事業を行うなど、学校・家

庭・地域の連携・協働による子どもたちの生きる力や相互の教育力向上を図りました。公民館事業においては、多種多様な講座を実施し、多くの方々に学びの場を提供しました。また、地域の活性化を目的に、他の部局と協力して「地域の力を考える集い」を市内4地区で開催し、市民一人一人が今後の南島原市を考える機会となりました。その他、コンサートや講演会の開催、セミナーヨ現代版画展やアートビレッジ・シラキノ事業による芸術文化の振興に努めました。図書館事業では、6図書館2図書室の恵まれた環境を生かした「本でつながる学校図書館連携事業」など読書活動の推進に取り組んでまいりました。今後も家庭教育支援と子どもの健全育成を柱に、社会教育施設等における人生各期における学びの機会の充実と学びの成果を地域に還元できる人材の育成に努めてまいります。

スポーツの振興においては、市民の健康増進とスポーツ競技力の向上及びスポーツによる交流人口の拡大を図り、地域の活性化につながる事業を実施しました。「第29回原城マラソン大会」は、県内外から多数の参加申し込みをいただきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大会を中止といたしました。今後、スポーツイベント等の開催につきましては、スポーツ庁のガイドライン等を基に、防止策等を講じた運営方法を検討してまいります。また、子どもたちを対象とした事業では、南島原市の自然環境を活かした「自然体験事業ネイチャー」や「マリンスポーツ教室」を開催し、郷土愛の醸成を図りました。2年目となった総合型地域スポーツクラブとの協働事業につきましては、想定以上に子どもたちの体力の向上が見られたことは喜ばしく、引き続き体力向上指導プログラムの構築を進めてまいります。

文化財行政においては、国・県及び市指定文化財の保存・管理のための定期的な巡回や除草作業等の実施及び施設等の整備、資料館の修繕、収蔵品の燻蒸処理を行いました。今後も適切な維持・管理に努めるとともに、文化財の保存と活用に努めてまいります。また、国土交通省の砂防事業に伴う権現脇遺跡の整理調査や県営ほ場整備に伴う出口遺跡の発掘調査なども行いました。今後も遺跡の発掘調査を継続しながら、保存と記録を図ってまいります。国指定史跡日野江城跡については、世界文化遺産である原城跡と同じ有馬氏の城跡であり、普遍的な価値を有するかけがえのない文化財として調査・整備を進めてまいります。

世界遺産推進においては、世界文化遺産である原城跡を万全な状態で保存していくための遺産影響評価や保全状況を世界遺産委員会に報告するためのモニタリングの準備などを実施しました。また、市民や来訪者にその価値を理解していただくための事業として、南島原市世界遺産市民協働会議主催で、世界文化遺産登録1周年を記念したシンポジウムを開催し、基調講演やパネルディスカッションで原城跡の活用について考えました。さらに、6月と11月に原城跡及びその周辺環境美化と世界遺産に対する地元の意識情勢のため清掃活動を実施しました。地域の物産振興や観光振興に関しても、関係部署や民間組織との連携が重要になっており、保全と活用のバランスを図りながら取組を進めてまいります。

令和2年9月

南島原市教育委員会

学識経験者の所見

「教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書 {平成31年度（令和元年度）事業分}」についての所見

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

教育委員会会議の審議及び定例会や臨時会等が計画的に進められ、会議資料の事前配付と各種研修会への参加機会の確保などを含めた会の運営や、教育委員各位の意見交換並びに検討・報告が適宜・適切に図られていることを評価する。

また、情報の原則公開のルールに則り、引き続き公告やホームページを利用したの、市民への発信・周知が為されたことや、市長を含む市行政機関との連携などが図られていることが窺える。

さらに、各学校の教育環境の実態把握と改善のための学校訪問や、その他各種の学校行事等への参加ができる形で計画的に進められ、その指導・支援が図られていることも評価する。

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

まず、「南島原市教育振興基本計画(改訂版)」で策定された計画(項目・内容)に沿って、最終年度である令和4年度(2022年度)までの、創意ある着実な実践の積み上げと目標達成を期待したい。

また、本項の内容については、ここ数年度の自己評価が「B」であることから、事務の管理・執行が適切に為されていることが窺えるものの、その一方では、この分野が教育長に委任できない事務であるだけに、今後ともより相互の慎重で公正な検討・審議が為されるよう望むものである。

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

1 教育環境の充実に関する事務

学校施設や社会教育・社会体育施設及び空調設備の整備を、安全性の確保や快適な学習環境づくりの観点から着々と進められていることを評価する。

また、それを昨今の地球温暖化や非常変災等の頻発などによる緊急避難場所の確保という点でしっかり生かすとともに、今後は新たに策定された「南島原市学校施設長寿命化計画」に沿って、費用対効果を考えた整備・改修等を執行していただきたい。

なお、今回発生したコロナ禍のような予期しえない事態での臨時休業措置や夏季休業の短縮などに対する学習機会(量・質)の確保や学びの格差是正のためには、基本的には分散登校や短縮などで、可能な限り対面授業を続けていくのが望ましいが、一方でオンライン環境の整備、また遠隔授業で補えるように準備しておくことも必要である。

2 学校教育の推進に関する事務

発達障がいを含め、心身に障がいや悩み等を抱えていたり、配慮を要したりする児童・生徒の実態把握や受け入れ体制の構築と整備など、引き続き特別支援教育の充実を図られていることを一定評価する。

今回は、これまであった「子ども支援員の配置事業」がなくなり、代わりに「学校支援

員の配置事業」が設けられたが、配置のねらい(活動内容)等の変更もあったことから、その事業の今後の進捗を注目したい。

付言して、今回のコロナ禍の中で、身体障がい者等が必要な支援を受けられない…といった、『合理的配慮』の欠如が全国的に露呈されたようである。それらのことを含め、特別支援(教育)の視点が学校教育だけでなく、より社会全体の中に生かされ広がっていくことを強く望むところである。

市の人間教育研究指定の小・中学校事業や、教職員研修は「ききがけ」から「あかつき」へと名称変更はあったものの、いずれも内容が充実しており評価をしたい。

一方、本市の子どもたちの学力の実態からして、まだレベルアップの余地が残されている。今後は、上記の事業や研修を生かしながら、より独創的な方策・手立てを検討・試行するなどして、何とか子どもたちの学力の定着・向上を図っていただきたい。

北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展は、本市独自の取組として定着していることを評価するとともに、今後とも子どもたちの知性や創造性・豊かな発想力などを涵養する意味でも、本事業の継続をお願いしたい。

また、小・中学校の総合学習事業の予算配当については少し減額されたようだが、効率的な用途を進めることを前提にしても、今後も一定額の確保をお願いしたい。

語学指導事業でのALTやEATの採用・配置については、評価が「A」ということで、効果の実をきちんとあげている。引き続き、子どもたちによりよき国際人としての素地を養っていただきたい。

学校給食設備事業や学校適正規模・適正配置事業及びICT機器の整備については、今後スムーズな進捗・運用を図っていただきたい。

3 社会教育の推進に関する事務

現代社会は、その構造やシステムが複雑化・重層化し、伴って人々の価値観も多様化・混迷化しているとともに、倫理観や道徳観等が著しく欠如した中にある。

とりわけ、近年においては子ども・子育てをめぐる課題が潜在化・深刻化した形で山積しており、改めて社会教育や家庭教育の重要性が問われているところである。

そのような厳しく難しい社会状況の中、まず本教育を下支えしてもらう委員の会議や研修が適宜・適切に進められ、それぞれの意識や資質の向上に寄与できたことはよかった。

その上で、家庭教育支援の施策が諸々実施され成果をあげていることや、地域教育力の充実を図るための事業や講座・活動が、子どもたちの健全育成を図るということをねらって、各種進められていることを評価したい。

一方で、コミュニティ・スクールへの移行や義務教育学校の設置へ向けての準備などについては、計画的に調整等を図っていただきたい。

次に、人権教育での人権思想の普及・浸透という点で、学校をはじめ広く社会全体にまだ希薄なところがあるように感じる。特に学校では、子どもの人権を「子どもの権利」として捉えて、どうやったら一人一人輝く子どもに成長させることができるのかの視点で考え、互いを大切にするという心情や思いやりの心をしっかり育ててほしい。また社会では、現下のコロナ禍での差別や偏見に限らず、そのようなことを許さない風潮をつくり上げるためにも、その啓発・広報活動や救済制度の充実等を図ることが大事である。

その他、セミナリヨ版画展やアートビレッジ・シラキノ事業は、まさしく本市の多様な魅力の発信や創出につながるものであり、本市のアピール度や市民レベル(民度)を高める

ためにも、今後とも継続されていくよう望むとともに、併せてさらなる廃校活用策も促していただきたい。

加えて、読書活動の推進については、子どもたちや市民がより読書に親しむ環境づくりの施策を、今後とも進めていただきたい。

4 スポーツの振興に関する事務

前回より、取組や活動内容を多く広く紹介してもらい、マリンスポーツ・イベントをいろいろと知ることができてよかった。今後も、本市の恵まれた自然・海洋環境のすばらしさをアピールしながら、それが観光振興や人々の交流・移住(定住)策等にもつながるとよい。

原城マラソン大会は、今回は残念ながらコロナによって中止となったが、広く定着してきており、今後とも世界遺産登録をPR・広報するイベントとしても意を注いでいってほしい。

また、専門の指導員の育成や各団体との連携が図られていることで、市民の競技力の向上と健康づくり、スポーツに親しむ環境づくりを、より一層進めていただきたい。

なお、2020年夏の東京オリンピック・パラリンピックは、コロナによって1年延期され、未だ開催の有無も不透明なことで、やや関心と熱が冷めた感はあるものの、改めて、市民の障がい者スポーツも含めたスポーツの底辺入口と交流の拡大への機運を高めていただきたい。

5 文化財の保護活用に関する事務

まず、資料館の維持・管理や指定文化財の保護・管理に、巡回・点検等をしながら鋭意努めてきたことが窺える。

この度、口之津港のフェリーターミナル(ビル内)に、新たに「歴史民俗資料館」が設置されたが、旧の建物と同様に、市民だけでなく広く多くの方の目に触れてもらうことで、本市の歴史や文化等を周知していけるよう、今後その活用策を練り進めていただきたい。

また、埋蔵文化財の発掘調査では、必要なものはその報告書を刊行し、記録に残し留めておくなど、よく整理されていることが分かる。

一方、原城跡の法(のり)面は、大雨等によって崩落することが度々あるので、これからも、その保全や景観の保持に努めていただきたい。

いずれにせよ、本市の歴史と価値のある文化財を、今後とも万全を期して保護・活用していただきたい。

6 世界遺産推進に関する事務

今回、本事務が新たな項目として起こされたが、ここまでの取組や活動を数字の結果報告も含めてあげてもらうことで、内容を把握することができてよかった。

「原城跡」が世界遺産の一つとして登録をされて約2年になるが、この場所が、その歴史的意義を学び、深い精神性や祈りの心などを感得する鎮魂の場であるということの原理・原則を忘れてはならず、それを踏まえた取組や活用策を進めていくことが大事であろう。

もちろん、一方で観光(振興)資源等として、どのように今後の活用を図っていくかも改めて問われている。

そのためにも、「日野江城跡」も含めて官民一体となった諸施策の運用が期待される
ところである。

世界遺産のまちづくりにおいて、市民が置いてきぼりになったり、市民の足が遠のいた
りしてはならない。市民一人一人が自らこの遺産に誇りを持てるような、そんな貴重な財
産として後世に伝え、残していけるものであるよう願っている。

国連の「持続可能な開発目標」(SDG s) の実践事項に 17 の目標が掲げられている。そ
の中で、教育のことに特化すると、4 番目に「すべての人々への包摂的(インクルーシブ) か
つ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」とある。

このことから、教育行政の担う役割や責任は大きいものがあることが分かる。となれば、
それとともに我々市民は、教育委員会から提供される各種事業や諸施策の一つひとつが、
どのように展開されているかを、高い関心を持って見ておくことも必要である。

その点で、今回も所管事務に係る自己点検と評価を的確に進め、説明責任をきちんと果
たしていることや、業務の遂行に専心して当たっていることを窺い知ることができた。

今後、ますますの本市教育行政の振興・発展と、教育委員会各位の精励を祈念して、以
上、私の所見とする。

令和 2 年 9 月 1 日

志 岐 重 樹

「教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書〔平成31年度（令和元年度）事業分〕」についての所見

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

教育委員会及び教育委員については、「南島原市教育振興基本計画」に基づきそれぞれの業務について、遺漏無く確実に遂行されている。

各種会議は、当該年度当初の計画に従い適時・的確に行われている。会議の開催に際しては、事前の準備も入念に行われ、各委員への連絡や調整はもとより、会議に必要な資料も前もって配布する等きめ細やかな対応がなされている。そのため、会議は円滑で有効に開催されていることが窺われる。定例の会議については、その結果を市のホームページに掲載して市民への周知が図られている。

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

市教育振興基本計画の目的達成のための指針を立て、小・中学校や各種教育機関の長の任免及び、教職員の人事や進退に係る決定や教育委員会規則の制定改廃、教育予算等広範囲にわたる業務内容について慎重かつ公正な取組に尽力されている。

地味で煩雑な業務内容であるが、本市教育活性化の基盤である。今後とも確実な業務遂行をお願いしたい。

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

1 教育環境の充実に関する事務

小学校の適正規模・適正配置化に伴う有家小学校新築工事は着々と進められている。複式学級の解消により、切磋琢磨して成長していく児童の教育の場が保障されるとともに教職員の負担軽減にもつながるものと期待している。

空調設備の工事も継続して実施される他、体育館照明のLED改修工事や老朽化にともなう補修工事も年次計画のもとに適切に実施されている。また、児童・生徒の安全を考慮したブロック塀の改修工事や学校の実態や要望を考慮しての増築工事等、安全で安心して活動しやすい学校環境の整備に努められていることに感謝したい。

一方、社会教育施設の整備についても計画的な取組が見られ、市民の生涯学習の場の提供に配慮がなされており、評価できる。

2 学校教育の推進に関する事務

学校教育は「生きる力」と「確かな学力」を育むことを目指して、各種施策が一貫して実施されている。

市の教職員研修や人間教育研究指定事業は、学校現場で直接指導に当たる教職員の指導力の向上につながるとともに、児童生徒の「生きるための学力と人間力の向上」に大いに寄与するものと期待できる。

また、新入学児童支援事業や特別教育推進事業・子供の悩み相談事業では、心身に障がいのある児童生徒やその保護者に対してもきめ細かな配慮がなされ、一人一人の児童生徒

のニーズに対応する教育が推進されている。これらの事業は、児童生徒はもとより、その保護者・地域住民にも特別支援教育に対する意識を啓発する機会となっている。

外国語活動では、市は独自に英語指導助手(EAT)6名を市内全小学校に派遣している。これは画期的な取組で、より多くの児童が、より多く生の英語や外国の文化に直接接触れることができている。グローバル化が進むこれからの時代を生きる児童にとって、英語の習得や国際社会を理解する上で大変効果的であるといえる。

さらに、北村西望教育美術展・古野賞科学技術展の開催は、美術や科学に対する児童生徒の興味や関心を高めるとともに絵画や彫塑・科学研究物への創作意欲を高めている。今後ともぜひ継続して開催してもらいたい。

学校給食では、集中型学校給食共同調理場の建設が計画に従い進められている。新給食センターの開始までには解決しなければならない諸課題があると思われるが、これまで同様、安全・安心で美味しい給食が提供できるよう一層の努力をお願いしたい。

3 社会教育の推進に関する事務

市の社会教育を推進する社会教育委員兼公民館運営審議会委員の会議や研修は適切に実施されている。会合では、市の社会教育の現状や今後の課題について共通理解がなされ、市社会教育の充実につながっている。

家庭教育では、子育てにかかわる保護者に対して乳幼児期から連続する育児についての知識や技能を学ぶ場を提供している。また、保育士や地域の人材を活用し家庭教育支援の情報提供や市民全体の家庭教育支援に関する意識の啓発に努めている。

地域教育力の充実の面においては、学校・公民館や各種施設と連携し多くの事業に取組がみられる。南島原市の地域の特性を考慮したセミナーヨ版画展やアートビレッジ・シラキノなどの芸術文化面の事業は、市民に心の豊かさやうるおいを与えるものとなっている。

また、青少年健全育成や図書館活用を中心とした事業についても積極的な取組が窺える。日々の市民生活の活性化につながっている。

ただ、学校・家庭・地域の更なる連携・協働によるコミュニティ・スクールへの移行については、南島原市の実態を考慮した具体的な姿や方法を吟味する必要があると思われる。今後の検討課題にしていきたい。

4 スポーツの振興に関する事務

駅伝大会や綱引き大会など市内で開催されるスポーツイベントには多くの市民が参加できるよう工夫されている。特に小学生を対象とした水泳教室の実施は、児童の水難事故防止の面で大変ありがたい。

マリンスポーツや自然体験事業は海に面した市の特性を生かした取組で、自然の中で楽しみながら体を動かすことにより運動不足の解消や健康の維持増進にもつながるものと期待できる。また、市民だけでなく他市からの観光客も喜んで参加できるものとする。市の活性化につなげてほしい。

市の様々なスポーツイベントを開催するにあたっては、スポーツ振興課の企画運営と各種スポーツ団体や関係者の理解と協力が不可欠である。今後とも連携を強化しながら本市のスポーツ活動の発展に努めてもらいたい。

5 文化財の保護活用に関する事務

資料館等の維持管理については、資料の点検、整理、修繕がなされている。また、指定文化財の巡回と保護管理も定期的に行われている。さらに、数多くの埋蔵文化財の発掘調査についても積極的に実施されている。

これらの文化財は、郷土の歴史やその時代そこに生きた人々の生活の様子や工夫を知る手がかりである。資料館や文化財の維持管理、保護は極めて重要なことであるが、その資料や文化財を今にどう活用していくかが課題である。資料について、先人の様子がしのばれるわかりやすいパンフレットの作成が望まれる。

6 世界遺産推進に関する事務

原城跡が世界遺産に登録されたことは市民の一人として大変喜ばしく、関係当局の努力に敬意を表す。現在、世界遺産アクションプランに基づき世界遺産の啓発活動がなされていることも、大変有意義なことであると受け止めている。

今後、一般市民や観光客にわかりやすい、なるほどと感じられるような取組になることを期待する。

教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価報告書 {平成31年度(令和元年度分)}については、各事業、ほとんどの項目に達成・継続の評価がなされていた。教育委員会各課からの説明を聞き、自己評価の結果は妥当であると感じた。これまでの担当者の努力に敬意を表したい。変化が激しく先の見通せない時代ではあるが、「継続は力なり」の言葉があるように、これまでの実績を大切にしながら、より一層の創意工夫を期待し、所見とする。

令和2年9月1日

瀬川良治

自己点検・評価

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

(1) 教育委員会会議の運営及び情報発信

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<p>① 会議の開催回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 審議が必要な事項については漏れなく行われており、会議回数も適正であった。定例会を12回〔12回〕(月1回)実施した。 ○ 教育委員会に提案した議案等は、総数61件〔57件〕あった。 	B
<p>② 広報・広聴活動の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員会の定例会及び臨時会開催の市民への周知は、公告及びホームページを利用して行った。 ○ 教育委員会の会議録については、ホームページによる公開を行った。 ○ 詳細な会議録をホームページで公開・・・12回〔12回〕 	B

(2) 教育委員と事務局との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員と事務局間において、年間を通じて重要事項となっていることについて、確実に連絡調整を行った。 ○ 教育委員会の議題のうち議案に関しては、教育委員が議案の検討を事前に十分行うことができるよう会議日以前に教育委員へ資料を送付した。 ○ 懸案事項等についても、教育委員会会議の所管事項で報告し、諸問題に係る意見交換や検討・報告を十分に行った。 	B

(3) 教育委員会と市との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合教育会議において、積極的な意見交換が行われたので、教育委員会と市との連携は図られたと考える。 なお、副市長も特別に参加し理解を深めた。 また、教育長は事務局の長として、市長・副市長と連携を図った。 ○ 総合教育会議・・・1回〔1回〕開催 	B

(4) 教育機関等との連携

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<p>① 学校への訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校訪問は学校の教育環境の実態を把握し、必要に応じて改善の手立てを講じることが狙いである。原則として3年で全校を訪問することとしており、教育委員会としての責務により、学校訪問を行った。 ○ 訪問校数・・・小学校6校〔5校〕、中学校2校〔3校〕、幼稚園0園〔0園〕を訪問した。 ○ 教育委員は、学校訪問の他に研究発表会、授業参観、入学式などの各種行事にも事務局と連携して出席した(卒業式は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため不参加)。 	B

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<p>② その他施設への訪問</p> <p>○ 各施設で行われる行事等の開催に合わせて訪問を行った。</p>	

(5) 教育委員の研修等

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク												
<p>○ 外部研修会等には計画的な参加体制をとり、研鑽に努めた。</p> <p>また、新しい情報や懸案事項等については、その都度、教育委員会の会議の場において議題にするなど、一定の情報の共有化を図った。</p> <p>各教育委員は、市内外で行われる教育講演会等に参加するなど自己研鑽に努めた。</p> <p>[活動内容]</p> <p>教育長・・・ 都市教育長協議会（全国・九州・県）の研究会等に参加し各市の教育長との情報交換、懸案事例の検証等を行った。</p> <p>教育委員（教育長を含む。）</p> <p>・・・ 外部研修会に参加し、情報交換や研究等研鑽を行った。</p>	B												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>全国対象</th> <th>九州内対象</th> <th>県内対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参 加 回 数</td> <td>1回〔1回〕</td> <td>1回〔1回〕</td> <td>7回〔8回〕</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>1人〔1人〕</td> <td>3人〔1人〕</td> <td>16人〔13人〕</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	全国対象	九州内対象	県内対象	参 加 回 数	1回〔1回〕	1回〔1回〕	7回〔8回〕	参加延べ人数	1人〔1人〕	3人〔1人〕	16人〔13人〕
区 分	全国対象	九州内対象	県内対象										
参 加 回 数	1回〔1回〕	1回〔1回〕	7回〔8回〕										
参加延べ人数	1人〔1人〕	3人〔1人〕	16人〔13人〕										

(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none">○ 必要な審議については、遅滞なく、漏れなく実施した。○ 委員の任命等議案・・・6件〔12件〕(各定例会で議決)	B

(9) 教科用図書の採択に関する基本方針の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none">○ 島原・雲仙・南島原地区教科用図書採択協議会において調査審議し、教育委員会で採択することを議決した。○ 令和2年度使用の小学校教科用図書の採択・・・7月の定例会で議決	B

(10) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域の設定又は変更の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none">○ 事例なし	—

(11) 市文化財の指定又は指定の解除の決定

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none">○ 事例なし	—

(12) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定による教育委員会の権限に属する事務についての点検及び評価並びに公表

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none">○ 自己点検及び評価を行い、その報告書を議会へ提出し、ホームページで公表した。○ 点検及び評価を行うに当たって、学識経験者の知見の活用を図ることができた。会議は3回行った。	B

第2 教育委員会事務局の執行事務(教育委員会から教育長が委任されている事務)

1 教育環境の充実に関する事務

(1) 小・中学校の耐震性の確保を図る整備工事

点検・評価のコメント及び活動内容等		評価 ランク								
<p>○ 学校施設は児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常変災時には地域住民の緊急避難場所として、今後は市と更なる連携をして整備を行っていく必要があり、その安全性の確保は極めて重要である。</p> <p>校舎及び体育館の耐震補強工事は平成26年度で終了したが、学校施設の更なる安全性向上を図るため、中学校2校の非構造部材耐震化改修工事を実施した。</p> <p>今後も、小・中学校の非構造部材耐震化改修工事を計画的に進めていく予定である。</p> <p>○ 小・中学校の非構造部材耐震化改修工事・・・計2件</p>		B								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 名 称</th> <th>工事費 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北有馬中学校屋内運動場改修工事</td> <td>54,189,300</td> </tr> <tr> <td>有家中学校校舎間仕切り建具改修工事(3期)</td> <td>39,408,600</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>93,597,900</td> </tr> </tbody> </table>			工 事 名 称	工事費 (円)	北有馬中学校屋内運動場改修工事	54,189,300	有家中学校校舎間仕切り建具改修工事(3期)	39,408,600	合 計	93,597,900
工 事 名 称	工事費 (円)									
北有馬中学校屋内運動場改修工事	54,189,300									
有家中学校校舎間仕切り建具改修工事(3期)	39,408,600									
合 計	93,597,900									

(2) 小・中学校の整備改修

点検・評価のコメント及び活動内容等		評価 ランク																																				
<p>○ 小・中学校施設及び設備の老朽化等に伴い、下記施設の整備改修工事を行った。</p> <p>当初計画していた緊急性の高い32件と、年度途中で発生した9件、計41件について、工事を実施した。</p> <p>○ 小学校施設の整備改修工事・・・計37件</p>		B																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 名 称</th> <th>工事費 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有家小学校旧校舎解体工事 (H30 繰・H31 支出分)</td> <td>30,856,800</td> </tr> <tr> <td>布津小学校ブロック塀改修工事 (H30 繰・H31 支出分)</td> <td>10,262,000</td> </tr> <tr> <td>深江小学校ブロック塀改修工事 (H30 繰・H31 支出分)</td> <td>10,704,960</td> </tr> <tr> <td>有家小学校新築工事 (建築工事) (前金払のみ)</td> <td>650,110,000</td> </tr> <tr> <td>有家小学校新築工事 (電気設備工事) (前金払のみ)</td> <td>65,340,000</td> </tr> <tr> <td>有家小学校新築工事 (機械設備工事) (前金払のみ)</td> <td>118,740,000</td> </tr> <tr> <td>布津小学校空調整備工事</td> <td>25,178,040</td> </tr> <tr> <td>飯野小学校空調整備工事</td> <td>19,085,760</td> </tr> <tr> <td>深江小学校空調整備工事</td> <td>25,754,760</td> </tr> <tr> <td>深江小学校馬場分校・諏訪分校空調整備工事</td> <td>4,830,840</td> </tr> <tr> <td>小林小学校空調整備工事</td> <td>21,049,600</td> </tr> <tr> <td>新切小学校空調整備工事</td> <td>7,261,920</td> </tr> <tr> <td>蒲河小学校空調整備工事</td> <td>5,907,600</td> </tr> <tr> <td>西有家小学校体育館照明LED改修工事</td> <td>7,383,200</td> </tr> <tr> <td>布津小学校体育館照明LED改修工事</td> <td>8,570,100</td> </tr> <tr> <td>小林小学校体育館照明LED改修工事</td> <td>5,463,700</td> </tr> <tr> <td>堂崎小学校グラウンド改修工事</td> <td>19,031,100</td> </tr> </tbody> </table>			工 事 名 称	工事費 (円)	有家小学校旧校舎解体工事 (H30 繰・H31 支出分)	30,856,800	布津小学校ブロック塀改修工事 (H30 繰・H31 支出分)	10,262,000	深江小学校ブロック塀改修工事 (H30 繰・H31 支出分)	10,704,960	有家小学校新築工事 (建築工事) (前金払のみ)	650,110,000	有家小学校新築工事 (電気設備工事) (前金払のみ)	65,340,000	有家小学校新築工事 (機械設備工事) (前金払のみ)	118,740,000	布津小学校空調整備工事	25,178,040	飯野小学校空調整備工事	19,085,760	深江小学校空調整備工事	25,754,760	深江小学校馬場分校・諏訪分校空調整備工事	4,830,840	小林小学校空調整備工事	21,049,600	新切小学校空調整備工事	7,261,920	蒲河小学校空調整備工事	5,907,600	西有家小学校体育館照明LED改修工事	7,383,200	布津小学校体育館照明LED改修工事	8,570,100	小林小学校体育館照明LED改修工事	5,463,700	堂崎小学校グラウンド改修工事	19,031,100
工 事 名 称	工事費 (円)																																					
有家小学校旧校舎解体工事 (H30 繰・H31 支出分)	30,856,800																																					
布津小学校ブロック塀改修工事 (H30 繰・H31 支出分)	10,262,000																																					
深江小学校ブロック塀改修工事 (H30 繰・H31 支出分)	10,704,960																																					
有家小学校新築工事 (建築工事) (前金払のみ)	650,110,000																																					
有家小学校新築工事 (電気設備工事) (前金払のみ)	65,340,000																																					
有家小学校新築工事 (機械設備工事) (前金払のみ)	118,740,000																																					
布津小学校空調整備工事	25,178,040																																					
飯野小学校空調整備工事	19,085,760																																					
深江小学校空調整備工事	25,754,760																																					
深江小学校馬場分校・諏訪分校空調整備工事	4,830,840																																					
小林小学校空調整備工事	21,049,600																																					
新切小学校空調整備工事	7,261,920																																					
蒲河小学校空調整備工事	5,907,600																																					
西有家小学校体育館照明LED改修工事	7,383,200																																					
布津小学校体育館照明LED改修工事	8,570,100																																					
小林小学校体育館照明LED改修工事	5,463,700																																					
堂崎小学校グラウンド改修工事	19,031,100																																					

点検・評価のコメント及び活動内容等		評価 ランク
大野木場小学校校舎便所増築工事	28,630,800	
西有家小学校ブロック塀改修工事	6,609,900	
小林小学校ブロック塀補強改修工事	2,734,600	
小林小学校校舎パラペット改修工事	3,732,300	
その他工事（16件）	8,182,500	
小 計	1,085,420,480	
○ 中学校施設の整備改修工事・・・計4件		
工 事 名 称	工事費（円）	
南有馬中学校体育館照明LED改修工事	8,287,400	
西有家中学校給食配膳室改修工事	1,355,400	
南有馬中学校ブロック塀撤去工事	663,300	
西有家中学校ブロック塀改修工事	15,310,900	
小 計	25,617,000	
合 計	1,111,037,480	

(3) 社会教育施設・社会体育施設の整備改修

点検・評価のコメント及び活動内容等		評価 ランク
○ 社会教育施設、社会体育施設の老朽化等に伴い、下記施設の整備改修を行った。 当初計画していた緊急性の高い19件と、年度途中で発生した4件、計23件について、整備改修を実施した。		B
○ 社会教育施設の整備改修工事・・・計11件		
工 事 名 称	工事費（円）	
西有家総合学習センターエレベーターロープ取替工事	1,540,000	
西有家総合学習センターテラス改修工事	1,514,700	
公民館非常灯取替工事（深江・カムス・口之津）	4,095,300	
口之津図書館3階ホール照明器具取替工事	1,232,000	
その他工事（7件）	4,279,000	
小 計	12,661,000	
○ 社会体育施設の整備改修工事・・・計12件		
工 事 名 称	工事費（円）	
布津ふるさと道場改修工事（H30 繰・H31 支出分）	20,606,760	
有家運動公園トイレ改修工事（H30 繰・H31 支出分）	16,597,900	
旧有馬商業高等学校解体工事（1工区）（H30 繰・H31 支出分）	76,384,080	
旧有馬商業高等学校解体工事（2工区）（H30 繰・H31 支出分）	26,910,360	
旧有馬商業高等学校解体工事（3工区）（H30 繰・H31 支出分）	13,773,240	
旧有馬商業高等学校解体工事（屋体）（H30 繰・H31 支出分）	16,487,280	
口之津体育館建具改修工事	61,163,300	
南有馬プール屋根改修工事	31,401,700	
深江相撲場改修工事	3,413,300	
その他工事（3件）	2,801,099	
小 計	269,539,019	
合 計	282,200,019	

2 学校教育の推進に関する事務

(1) 新入学児童支援事業（教育支援委員会）

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<p>○ 本市に居住する心身に障がいのある児童生徒（就学前の幼児を含む）に対し、それぞれの能力に応じた教育が受けられるよう、その判定と就学支援の適正を期して、教育委員会の諮問に応じて、その結果を答申し、適切な就学支援を行った。</p> <p>開催期日・・・7月10日(水)、11月13日(水)</p> <p>開催場所・・・南有馬庁舎会議室</p> <p>出席者・・・教育支援委員13人、教育長他4人、計17人</p> <p>審議件数・・・71件〔86件〕</p>	B

(2) 特別支援教育推進事業（特別支援教育助手の配置）

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<p>○ 特別支援教育助手は、特別な配慮を要する児童生徒に対し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導ができるように配置した。</p> <p>特別支援教育助手の配置によって、学校・保護者との連携が十分に図られ、児童生徒の状況に応じた学習指導、生徒指導及び生活指導、進路指導等への適切な支援ができた。</p> <p>○ 配置状況</p> <p>配置人数・・・35人〔28人〕【34人】</p> <p>配置学校数・・・23校（8校は2人配置、2校は3人配置）〔23校〕</p> <p>年間勤務日数・・・190日</p>	B

(3) 子どもの悩み相談事業（心の教室相談員の配置）

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<p>○ 心の教室相談員は、悩み等を持つ児童生徒の相談を専門的に受けたり、ストレスを和らげたりすることができる第三者的な存在であり、校内における相談体制を整えるために配置した。</p> <p>不登校児童生徒数については、小・中学生とも増加しており、心の教室相談員との連携を更に深めていく必要がある。</p> <p>また、通級型心の教室「つばさ」に相談員6人を配置し、個別に適応指導を進めており、児童生徒7人が通級し、卒業生2人が高等学校に進学する等の成果をあげた。</p> <p>○ 配置状況</p> <p>配置人数・・・18人〔20人〕【20人】</p> <p>年間勤務日数・・・心の教室学校相談員140日、心の教育施設相談員200日</p> <p>○ 不登校児童生徒数</p> <p>小学校・・・3人（全体の0.14%）〔2人（全体の0.09%）〕</p> <p>中学校・・・29人（全体の2.66%）〔25人（全体の2.22%）〕</p> <p>計・・・32人（全体の1.02%）〔27人（全体の0.90%）〕【0.5%】</p>	B

(4) 学校支援員配置事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<p>○ 学校支援員は、小・中学校の教育活動に際し、教職員の業務支援を行うことにより、教職員がより児童・生徒への指導や教材研究等に尽力できるようにするために配置しており、教職員の負担軽減が図られ、個に応じた指導や教員の働き方改革の推進に寄与した。</p>	B

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 配置状況 <ul style="list-style-type: none"> 配置人数・・・21人〔21人〕【20人】 配置学校数・・・21校〔18校〕 年間勤務時間数・・・800時間 	

(5) 市教職員研修「あかつき」

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 南島原市の教育の在り方の実現を目指して、南島原市における喫緊の教育課題や教職員のニーズに応じた実践的な研修を行うことで、高い専門性と豊かな人間性をもった品格ある教職員を育成し、学校力の向上を図ることをねらいとしており、学力向上、授業改善、特別支援教育等をテーマとした研修を実施した。 ○ 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> 開設講座の種類・・・5種類〔7種類〕 実施講座数・・・・・・11講座〔14講座〕 受講対象者・・・・・・全教職員 ○ 講座終了後のアンケート結果（ねらいに基づく構成や運営がなされたか。） <ul style="list-style-type: none"> よかった・・・・・・82.8%〔82.4%〕 ややよかった・・・・16.2%〔15.0%〕 やや悪かった・・・・1.0%〔2.2%〕 悪かった・・・・・・0%〔0.2%〕 	B

(6) 北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 南島原市の出身で名誉市民である北村西望氏、同じく名誉市民である古野清孝氏、古野清賢氏兄弟の功績を称え、本市小・中学校の美術教育並びに科学技術教育の振興を図ることを目的として開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 11月15日(金)～17日(日)に展覧会を開催し、17日には表彰式を開催した。 来場者数・・・755人〔697人〕 ○ 北村西望賞教育美術展入賞者 総出品数 558点〔569点〕【420点】 <ul style="list-style-type: none"> 西望賞・・・小学生 5人、中学生 1人〔小学生 4人、中学生 2人〕 奨励賞・・・小学生12人、中学生 6人〔小学生12人、中学生 6人〕 特選・・・小学生60人、中学生18人〔小学生60人、中学生11人〕 ○ 古野賞科学技術展入賞者 総出品数 128点〔134点〕【120点】 <ul style="list-style-type: none"> 古野賞・・・小学生 1人、中学生 1人〔小学生 1人、中学生 1人〕 優秀賞・・・小学生 2人、中学生 1人〔小学生 2人、中学生 1人〕 奨励賞・・・小学生 6人、中学生 1人〔小学生 6人、中学生 3人〕 	B

(7) 人間教育研究指定小学校事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生きるための学力と人間力の向上」をテーマに、先進的な研究を行った。 ○ 指定期間・・・2年間 ○ 指定校・・・・深江小学校（平成30～令和2年度） ※2年度は文科省委託 ・・・・南有馬小学校（平成31～令和2年度） ○ 研究費・・・・指定校に対し、研究費として年間10万円の市費助成を行った。 	B

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究実績 研究発表会の開催 深江小学校・・・10月25日(金) 2年次 本発表 南有馬小学校・・・10月30日(水) 1年次 中間発表 研究紀要の作成・配布 深江小学校・・・10月25日(金) 2年次 本発表時 	

(8) 人間教育研究指定中学校事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生きるための学力と人間力の向上」をテーマに、先進的な研究を行った。 ○ 指定期間・・・2年間 ○ 指定校・・・口之津中学校(平成30～31年度) ○ 研究費・・・指定校に対し、研究費として年間10万円の市費助成を行った。 ○ 研究実績 研究発表会の開催 口之津中学校・・・11月1日(金) 2年次 本発表 研究紀要の作成・配布 口之津中学校・・・11月1日(金) 2年次 本発表時 	B

(9) 総合学習事業(小学校)

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小学校の「総合的な学習の時間」の実施に当たっては、各校において計画的かつ効果的な活動がなされるよう、総合学習事業予算を配当した。 平成31年度(令和元年度)においても、横断的、総合的な学習を、各校が創意工夫して実施することができた。 ○ 決算額・・・1,209,310円〔1,345,148円〕 (1校平均 80,620円)〔89,676円〕 ○ 実施学校数・・・15校〔15校〕 	B

(10) 総合学習事業(中学校)

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各中学校の「総合的な学習の時間」の実施に当たっては、各校において計画的かつ効果的な活動がなされるよう、総合学習事業予算を配当した。 平成31年度(令和元年度)においても、横断的、総合的な学習を、各校が創意工夫して実施することができた。 ○ 決算額・・・629,428円〔629,686円〕 (1校平均 78,678円)〔78,710円〕 ○ 実施学校数・・・8校〔8校〕 	B

(11) 語学指導外国青年招致事業(外国語指導助手等の配置)

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内中学校に6人の外国語指導助手(ALT)を配置し、中学校の外国語科及び小学校の外国語活動の充実を図った。直接ALTと触れ合うことで、児童生徒の発音・発声の習得や国際理解教育の推進に大きく寄与した。 	A

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<p>また、英語指導助手（EAT）6人を配置し、小学校英語教育の更なる充実を図った。</p> <p>○ 配置状況 （ALT） 配置人数・・・6人〔6人〕【6人】 配置校・・・・・・6校（深江中、布津中、西有家中、北有馬中、南有馬中、口之津中） 派遣校・・・・・・2校（有家中、加津佐中）、全小学校、北有馬幼稚園</p> <p>（EAT） 配置人数・・・6人〔3人〕【6人】 派遣校・・・・・・全小学校</p>	

(12) 学校給食関連設備整備事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<p>○ 自校方式調理場の段階的解消に向けて取り組んだ結果、令和2年3月31日現在、7か所（給食センター6か所、自校方式学校給食調理場1か所）である。 学校給食センター建設に係る基本・実施設計業務の見直しを行い、新築工事に着手した。 令和2年第一回定例会にて新築工事（建築）、（電気）、（機械）の議案が可決、厨房機器購入の議案は否決。</p> <p>○ 厨房機器購入、新築工事（建築）、（電気）、（機械） 入札・・・・・・12月</p> <p>○ 厨房機器購入、新築工事（建築）、（電気）、（機械） 仮契約・・・・12、1月</p> <p>○ 新築工事（建築）、（電気）、（機械） 本契約・・・・・・3月</p>	C

(13) 南島原市立小学校適正規模・適正配置事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<p>○ 平成22年9月に策定した「南島原市立小学校適正規模・適正配置事業基本方針」を柱とし、小学校の適正規模・適正配置化を学校、保護者及び地域とともに進めていくため、平成24年8月に「南島原市立小学校適正規模・適正配置実行計画」を策定した。</p> <p>有家ブロック小学校（3校）の統合については、「有家ブロック小学校統合実施計画」を策定し、令和3年4月1日の統合に向けて委員会を立ち上げ、協議を行った。</p>	B

(14) 幼児教育に係る事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<p>○ 北有馬幼稚園は、唯一の市立幼稚園として、「幼児期にふさわしい生活」、「遊びを通した総合的な成長」、「生活の中での個に応じた発達」を教育方針に据え、幼児教育の推進を図った。</p> <p>平成31年度（令和元年度）も1年を通して折々の教育活動や行事を実施した。また、学校教育課も参加しての保護者懇談会を3回実施した。</p> <p>※今まで北有馬幼稚園が担ってきた幼児教育については、令和2年度から福祉保健部が所管する〔認定こども園〕に引き継がれ、継続していくことから、評価については、「B」とした。</p>	B

(15) ICT機器の整備

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<p>○ 電子黒板等のICT機器を整備し、小・中学校の授業改善を進め、児童生徒の学力向上を図った。</p> <p>平成31年度（令和元年度）は、平成25年度各中学校に導入した電子黒板等が老朽化したため、合計9台を更新した。</p> <p>（小学校全学級合計107台及び中学校は各学校5台程度、合計42台を整備完了）</p>	A

(16) 中体連補助事業

点検・評価のコメント及び活動内容等	評価 ランク
<p>○ 体育の振興を図りその活動を支援するため、南島原市中学校体育連盟に対し、中体連運営補助、大会出場補助、部活動補助等の経費の支援を行った。</p> <p>運動部活動数・・・・・・・・・・76部〔78部〕</p> <p>全国・九州大会出場校・・・・九州大会4校5競技・全国大会1校1競技 〔九州大会4校5競技・全国大会1校1競技〕</p>	B